

67 コミュニティサイクル事業

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標	だれもが移動しやすい環境の整備を進めます
------------------------	----------------------

事業概要	内容	<p>区では、身近な交通手段である自転車の活用による環境負荷の低減、健康の増進、放置自転車の削減、自転車による交通の役割の拡大、観光振興に資することを目的としてコミュニティサイクル事業を実施しています。</p> <p>令和2年度からは本格実施に移行し、安定的な事業運営を継続してまいります。また、来街者が気軽に利用できるサービスの提供や、観光における移動手段としての利用促進も進めてまいります。</p> <p>なお、引き続き、自転車の適正配置やバッテリー切れの解消に努めてまいります。</p>
	事業開始年度	平成26年度

事業費・コスト	予算現額		決算額		執行率
	180,000円		158,160円		87.9%
	コスト単位	延べ利用回数 1回あたり (1,355,004回)			
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)	
0円 [0.0%]		6円 [100.0%]		6円 [100.0%]	

事業実績	○令和2年度実績			
	(1) 利用実績等の推移 ※ () 内の数値は各年度の増減数			
	項目	令和2年度	令和元年度	平成30年度
	利用回数 (回)	1,355,004	1,423,650	1,133,127
	ポート数 (か所)	90 (0)	90 (9)	81 (19)
	自転車台数 (台)	800 (0)	800 (0)	800 (0)
	登録者数 (件)	174,472 (36,815)	137,657 (38,944)	98,713 (35,758)
	(2) 本格実施移行 平成26年10月1日に実証実験として事業を開始し、令和2年4月1日から本格実施に移行しました。			
	(3) 広域連携 平成28年2月1日から、4区 (千代田・中央・港・江東) における自転車相互乗り入れを可能とする広域連携を開始し、平成28年10月に新宿区、平成29年1月に文京区、平成29年10月に渋谷区、平成30年4月に品川区・大田区、令和元年6月に目黒区、令和2年10月に中野区が加わり、11区での自転車相互乗り入れが可能となり利便性が向上しました。			
4 事業実績を踏まえた 年度予算への対応	<p>認知度が向上し、利用実績が伸びる一方で、自転車のポート以外への放置や接触事故などの事例が見受けられることから、交通ルールの順守等の利用マナーの向上が課題となっています。</p> <p>令和3年度は、利用者に対してWeb等で安全啓発を実施し、自転車の交通ルールや利用マナーの周知を図ってまいります。</p>			

所管課 環境まちづくり部 環境まちづくり総務課	決算参考書	216頁	R2予算の概要	150頁
-------------------------	-------	------	---------	------

68 放置自転車対策

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		だれもが移動しやすい環境の整備を進めます					
事業概要	内容	<p>自転車駐車場の整備、放置禁止区域の指定、放置自転車への警告・撤去等を行うことにより、駅周辺を中心に、区内における自転車等の放置防止を図り、誰もが安全・安心・快適に通行できる環境を確保します。</p> <p>令和2年度は、引き続き秋葉原駅や神田駅などの重点地区で通常の巡回のほかに関係者と連携・協力し、放置自転車の削減に取り組みます。</p> <p>また、東京駅周辺地区を「自転車等放置禁止区域」に追加指定し、警告・撤去等を強化するとともに、老朽化した自転車駐車場の機器の入れ替えや一時利用者向けのコインパーキングの増設を行い、利用者の利便性向上を図ります。</p>					
	事業開始年度	平成11年度					
事業費・コスト	予算現額	150,535,000円		決算額	101,049,675円	執行率	67.1%
	コスト単位	昼間人口1人あたり		(853,068人)			
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)	
		118円	[68.2%]	55円	[31.8%]	173円	[100.0%]
事業実績	<p>○令和2年度実績</p> <p>(1) 自転車駐車場等の管理 (令和3年3月末現在)</p> <p>①年間登録制 16か所 総収容台数：自転車1,456台・原付138台</p> <p>②コインパーキング 15か所 総収容台数：自転車1,135台・原付 53台</p> <p>(2) 区内全域の放置自転車対策</p> <p>①撤去：2,540台 (うち原付16台)</p> <p>返還：1,441台 (うち原付9台)</p> <p>再生自転車販売：30台 (自転車のみ)</p> <p>②主要駅の放置自転車台数 (自転車・原付)：1,700台 (昨年度比330台減)</p> <p>③自転車等放置禁止区域の指定：11か所 (東京駅周辺を追加指定)</p> <p>(3) 放置自転車対策の啓発活動</p> <p>①秋葉原駅前放置自転車クリーンキャンペーン：開催なし※</p> <p>②サイクルフェア (再生自転車販売、交通安全講習会等)：開催なし※</p> <p>※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</p>						
4年度事業実績を踏まえた課題及び現況との対応	<p>東京都が毎年行っている調査「駅前放置自転車等の現況と対策」で、平成26年度に秋葉原駅周辺の放置自転車台数が都内ワースト1位 (872台) となりましたが、地域と連携して放置自転車対策を強化した結果、年々減少し、令和2年度調査では219台に減少しました。今後も安全・安心・快適な道路環境とまちの景観向上を図るため、放置自転車対策の継続が必要です。</p> <p>令和3年度は、有楽町駅周辺に自転車駐車場を整備します。</p> <p>令和4年度は、令和3年度に引き続き自転車等放置禁止区域の警告・撤去等を強化するとともに、放置自転車ゼロに向けた啓発活動にも取り組んでいきます。</p>						
所管課	環境まちづくり部	環境まちづくり総務課	決算参考書	216頁	R2予算の概要	145頁	

69 屋外広告物及び看板等の安全推進

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		建物の耐震化を促進します					
事業概要	内容	<p>近年、地震や津波などの自然災害が多く発生していますが、人命にかかわる重大な危険要素として、道路に面したビルなどに設置されている屋外広告物（看板など）の落下による事故もその一つと言えます。</p> <p>区は東日本大震災後、平成24年度から25年度にかけて区内の屋外広告物の損傷確認や落下防止のための現状調査を行い、その結果をデータ化し活用しています。</p> <p>しかし、調査から5年経過し、屋外広告物の安全性に関するデータの更新を図るため、令和元年度から再度調査を行い、危険な屋外広告物に対する是正・改善指導などに活用しています。</p> <p>令和元年度は麴町地域、令和2年度は神田地域の調査を行います。</p>					
	事業開始年度	令和元年度					
事業費・コスト	予算現額		決算額			執行率	
	39,996,000円		39,996,000円			100.0%	
	コスト単位	調査面積 1 km ² あたり (3.26 km ²)					
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)	
12,268,712円		[98.1%]	238,951円	[1.9%]	12,507,663円	[100.0%]	
事業実績	<p>○令和2年度実績 神田地域の調査を実施（調査面積：3.26km²）</p> <p>(1) 安全確認調査 広告物等の錆・腐食・破損状況等を調査し、落下や倒壊の可能性のある広告物を把握しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋外広告物（合計） 32,786基 ・安全確認の結果：①良い 32,287基 <li style="padding-left: 20px;">②要点検 489基 <li style="padding-left: 20px;">③要補修 10基（指導済） <p>(2) 広告物等の適合確認 広告物等の規模や法令に定める基準への適合状況、屋外広告物申請及び道路占用申請の有無を確認しました。未申請の広告物等については、令和3年度に是正指導します。</p>						
	<p>本事業における調査は、令和2年度で完了しました。</p> <p>令和3年度は、令和2年度の調査結果に基づき神田地域の是正指導を行います。</p> <p>今後も5年ごとに調査を実施し屋外広告物の安全を推進していきます。</p>						
4 事業 年度及 予算予 算を踏 まへ の対 令和 対応							
所管課	環境まちづくり部	環境まちづくり総務課	決算参考書	216頁	R2予算の概要	155頁	

70 ヒートアイランド対策の推進【拡充】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		地球に優しい環境づくりを進めます				
事業概要	内容	<p>千代田区は、都市部の中心に位置しているため、区内全域がヒートアイランド化しています。深刻なヒートアイランド現象を緩和することは、熱中症などのリスクから区民を守ることはもとより、集中豪雨などの災害を防止するためにも重要です。</p> <p>このため、区は、新築の建物に対する緑化指導による緑化の推進や改修による屋上緑化、高反射率塗装・日射調整フィルム設置等を行う区民や区内事業者等へ費用の一部を助成しています。</p> <p>また、クールスポットの創出や打ち水等への支援・普及啓発を行い、ヒートアイランド現象の緩和に取り組んでいます。</p>				
	事業開始年度	平成18年度				
事業費・コスト	予算現額		決算額		執行率	
	29,246,000円		19,559,250円		66.9%	
	コスト単位	区民1人あたり		(67,140人)		
	コスト内訳	事業費等 (A)	人件費 (按分) (B)	総コスト (C=A+B)		
	291円 [33.4%]	580円 [66.6%]	871円 [100.0%]			
事業実績	<p>○令和2年度実績</p> <p>(1) 緑化指導 ①指導件数：41件 ②緑地創出面積：6,319㎡</p> <p>(2) ドライ型ミスト設置 ①設置箇所：区内公園、緑道 6か所 ②設置期間：7月1日～9月30日</p> <p>(3) ヒートアイランド対策助成 ①助成件数：8件（高反射率塗料：4件、日射調整フィルム設置：4件）</p> <p>(4) 打ち水 ①打ち水：8月1日～8月31日区内各所 57件 ②打ち水用品等の貸出：7月1日～9月30日 3件</p> <p>(5) 緑のカーテン事業 ゴーヤ等の育て方を紹介する小冊子を作成し、出張所・図書館等で配布しました。</p>					
	<p>ヒートアイランド現象や気候変動による暑熱への対策のため、緑化や地表面等の蓄熱の抑制、クールスポットの創出などをさらに推進していく必要があります。</p> <p>令和3年度は、ヒートアイランド対策助成対象に新たにベランダ緑化を追加し、建物の蓄熱の抑制等を推進するとともに、引き続き涼風の道である千鳥ヶ淵緑道、区内公園の6か所にドライ型ミストを設置し、クールスポットの創出を推進します。また、緑のカーテン事業では、区民や区内事業者が緑のカーテン作りに取り組めるよう、ゴーヤ等の苗を配布します。さらに、子ども達の暑熱対策として麹町保育園に日除けの設置を行うとともに、平成18年に策定した「ヒートアイランド対策計画」の見直しに向けた基礎調査に着手します。</p> <p>令和4年度は、ヒートアイランド現象や暑熱対策として、官民が協力したクールスポットの創出等を推進するとともに、「ヒートアイランド対策計画」の見直しに向けた調査・検討を進めていきます。</p>					
4 事業 年度 実績 予 算 踏 ま え た の 対 応						
所管課	環境まちづくり部	環境政策課	決算参考書	218頁	R2予算の概要	162頁

71 地球温暖化対策【拡充】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		地球に優しい環境づくりを進めます					
事業概要	内容	都内で唯一の「環境モデル都市」として、区の実情を踏まえた様々な取組みを展開し、温暖化対策を総合的・計画的に推進します。					
	事業開始年度	平成18年度					
事業費・コスト	予算現額			決算額		執行率	
	(1) 地球温暖化対策の推進			12,059,000円	7,728,728円	64.1%	
	(2) 建築物の省エネ推進			74,683,000円	70,243,300円	94.1%	
	(3) 第4次実行計画の推進			14,740,000円	1,819,000円	12.3%	
	コスト単位	(1) 昼間人口1人あたり			(853,068 人)		
		(2) 昼間人口1人あたり			(853,068 人)		
		(3) 区民1人あたり			(67,140 人)		
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)	
	(1)	9円	[36.0%]	16円	[64.0%]	25円	[100.0%]
	(2)	82円	[73.9%]	29円	[26.1%]	111円	[100.0%]
(3)	27円	[27.8%]	70円	[72.2%]	97円	[100.0%]	
事業実績	○令和2年度実績						
	(1) 地球温暖化対策の推進						
	①地球温暖化対策地域推進計画の改定及び地域気候変動適応計画の策定 令和元年度に実施した地球温暖化対策の検証及び気候変動適応策に関する検討を踏まえ、「地球温暖化対策地域推進計画2021」及び「気候変動適応計画2021」の素案を作成しました。 作成にあたっては、学識経験者等で構成する地球温暖化対策推進懇談会検討部会において意見を聴取しました(計4回開催)。						
	②温暖化配慮行動計画書制度 計画書兼報告書提出事業所数 義務提出者(従業員300人以上): 219事業所 任意提出者(従業員300人未満): 36事業所						
	(2) 建築物の省エネ推進						
	①グリーンストック作戦 中小事業所ビル等省エネ診断件数: 58件						
	②建築物環境計画書制度 届出件数: 64件						
	③省エネルギー改修助成 助成件数: 110件						
	④低炭素建築物助成 助成件数: 1件						
	(3) 第4次実行計画の推進 ・全区有施設について施設ごとの目標を設定し、個票を作成 ・改善の見込まれる施設に対して調査票による調査を実施(3施設)						
※計画等の進捗管理業務の契約差金の発生及びCO ₂ 削減の促進に係る区有施設における設備機器のエコチューニング(運用改善)に向けた調査が、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、建物の使用方法が従来と異なり比較が難しくなったことにより休止したため、執行率が低くなりました。							
4年度事業実績及び現況との対応	地球温暖化対策に関する検証の結果や2050年までの脱炭素社会の実現を掲げる国の動向等を踏まえ、取組みの強化や効果的な取組みの追加実施が必要です。						
	令和3年度は、「地球温暖化対策地域推進計画2021」等を策定し、区民や区内事業者等に再生可能エネルギー由来の電力を普及させるための手法を検討します。また、省エネ改修助成では、事業所ビルへの改修に対する助成を拡充し、建築物のさらなる省エネ化の推進に取り組みます。 令和4年度は、新たな計画に基づいた取組みを実施し、地球温暖化対策のより一層の推進を図ります。						
所管課 環境まちづくり部 環境政策課			決算参考書		218頁	R2予算の概要	163頁

72 景観計画の策定等

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		地域ごとの特性を踏まえた景観を守り育て、千代田区の 魅力を高めます			
事業概要	内容	<p>区は平成10年に「千代田区景観まちづくり条例」を制定し、事業者などとの対話と協働のもと、個々の建設行為を対象に、景観まちづくり協議・届出制度を実施し、良好な景観形成に取り組んできました。</p> <p>平成16年には、「良好な景観は、現在及び将来における国民共通の資産」という基本理念や「地域における景観行政を担う主体は景観行政団体である」との考えのもと、景観法が施行されました。</p> <p>平成31年4月には、区が景観法に基づく景観行政団体になりました。これに伴い、令和元年度は、より一層の良好な景観形成に向けた方針や基準、一定の制限などを示す「千代田区景観まちづくり計画」を策定しました。</p> <p>令和2年度には、景観まちづくり計画を運用するうえで、屋外広告物に対して適切な景観誘導を図るために「屋外広告物景観まちづくりガイドライン」の策定を進めます。</p>			
	事業開始 年度	平成22年度			
事業費・ コスト	予算現額		決算額		執行率
	7,245,000円		7,128,000円		98.4%
	コスト単位	調査1件あたり			(1 件)
	コスト内訳	事業費等 (A)	人件費 (按分) (B)	総コスト (C=A+B)	
	7,128,000円	[35.0%]	13,242,655円	[65.0%]	20,370,655円 [100.0%]
事業実績	<p>○令和2年度実績</p> <p>「屋外広告物景観まちづくりガイドライン」の策定に取り組みました。計画策定にあたっては、景観まちづくり審議会での審議やパブリックコメントの実施を経て、令和3年3月に策定しました。</p> <p>(1) ガイドライン</p> <p>一般的な屋外広告物のほか、近年普及しているデジタルサイネージやプロジェクトンマッピングなどの新しい広告手法についても定めました。</p> <p>(2) 策定経緯</p> <p>令和2年9月3日 景観まちづくり審議会審議 (ガイドラインたたき台)</p> <p>令和2年12月4日 景観まちづくり審議会審議 (ガイドライン素案)</p> <p>令和2年12月20日～ パブリックコメント 14件</p> <p>令和3年1月12日</p> <p>令和3年2月10日 景観まちづくり審議会審議 (ガイドライン案)</p> <p>令和3年3月 ガイドライン策定</p>				
	4年度 事業 実績 踏ま えと 令和 対応	<p>令和3年4月の「屋外広告物景観まちづくりガイドライン」施行に伴い、屋外広告物に対する景観協議の対象範囲を区全域に拡充しました。今後は、屋外広告物の形態・意匠等について、ガイドラインに即した良好な景観誘導を図っていきます。</p> <p>令和3年度は、景観まちづくり条例に基づく景観まちづくり重要物件の新たな指定や景観法に基づく景観重要建造物の指定に向けた調査・検討を進めていきます。</p> <p>令和4年度は、引き続き景観まちづくり重要物件等の新たな指定に向けた取組みを継続し、良好な景観形成に取り組んでいきます。</p>			
所管課 環境まちづくり部 景観・都市計画課		決算参考書	218頁	R2予算の概要	160頁

73 都市計画マスタープランの改定

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		地域ごとのまちづくりのルールをつくります					
事業概要	内容	<p>区は、「千代田区街づくり方針」を昭和62年に策定後、社会情勢の変化、防災や地球環境に関する区民意識の高まり、ゆとりと豊かさを実感できる社会への希求など、区民ニーズを踏まえたまちづくりの展開に向け、平成10年3月に「千代田区都市計画マスタープラン（都市計画に関する基本的な方針）」を策定しました。策定から20年余りが経過し、区の人口構造、区を取り巻く社会経済状況や都市のありよう等は大きく変化する中、計画の目標年次を迎えています。</p> <p>そこで、現行マスタープランにおける理念や将来像、分野別まちづくりの目標や方針及び地域別構想が、環境の変化等に対応できているのかを検証し、令和3年度の改定に向けて検討を進めます。</p>					
	事業開始年度	平成30年度					
事業費・コスト	予算現額		決算額		執行率		
	14,486,000円		12,372,000円		85.4%		
	コスト単位	計画1件あたり				(1 件)	
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)	
12,372,000円		[61.4%]	7,789,797円	[38.6%]	20,161,797円	[100.0%]	
事業実績	<p>○令和2年度実績</p> <p>令和元年度に作成した「改定骨子」を公表し、意見聴取や公聴会、意見交換会を開催し、区民等から様々な意見をいただくとともに、千代田区都市計画審議会からの答申を踏まえ、「改定案」を取りまとめました。</p> <p>(1) 「改定骨子」に対する意見聴取等の実施</p> <p>①意見聴取 108件</p> <p>②公聴会・意見交換会 7回開催、136名参加</p> <p>(2) 都市計画審議会 4回開催</p> <p>(3) 都市計画マスタープラン改定検討部会 2回開催</p>						
4 事業実績を踏まえた 課題及び現況への対応	<p>改定の検討にあたり、まちづくりの多様な当事者の意見を伺い、プロセスを広く周知しながら検討を進めていく必要があります。また、計画改定後は、計画の進捗管理を適切に実施する必要があります。</p> <p>令和3年度は、これまでの成果を踏まえながら、パブリックコメントや公聴会等の区民参画手法を活用し、千代田区都市計画マスタープランを改定しました。また、計画改定後は、多様な手法によって計画を周知するとともに、計画の進捗管理の考え方の整理や、居心地が良く歩きたくなるまちなかづくり（「ウォーカブルなまちづくり」）の実現に向けた検討等を行います。</p> <p>令和4年度は、「ウォーカブルなまちづくり」等の計画の実現に向けた検討を深めていきます。</p>						
所管課 環境まちづくり部 景観・都市計画課		決算参考書		218頁	R2予算の概要	138頁	

74 地区の計画等の検討

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		地域ごとのまちづくりのルールをつくります					
事業概要	内容	都市計画マスタープランにおける地域目標の実現に向けて、地域の人々とともにまちづくりの基本的方向性を検討し、将来市街地像のイメージを共有するため、調査の実施や整備構想等の策定などを行います。 また、地域が主体となり、各地区の特性に応じたきめ細やかなまちづくりのルールとして、建築物の配置や空間・緑地などの公共的空間整備を総合的に誘導できる地区計画制度の活用について取り組みます。					
	事業開始年度	平成8年度					
事業費・コスト	予算現額		決算額			執行率	
	12,989,000円		11,943,000円			91.9%	
	コスト単位	取組1地区あたり			(3地区)		
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)	
3,981,000円		[36.2%]	7,010,817円	[63.8%]	10,991,817円	[100.0%]	
事業実績	○令和2年度実績						
	<p>(1) 地区計画制度の適用に向けた調査・検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ①六番町偶数番地周辺地区 6,985千円 ②九段南一丁目地区 2,420千円 <p>※令和3年4月1日現在の地区計画の策定状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区数：39地区 ・面積：約507ha ・区内に占める割合：約63%（皇居、北の丸公園を除く区の面積） <p>(2) 地域協議会への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ①日本テレビ通り沿道まちづくり協議会運営支援 1,980千円 						
4 事業 年度予 算及現 況を踏 まえた 令和	<p>地域における様々な動きを捉え、まちづくりの推進につなげていくためには、地域の状況を的確に見極め、まちづくりの方向性を検討することが必要です。</p> <p>また、地域特性を踏まえたきめ細やかなまちづくりのルールである地区計画制度の適用にあたっては、地域におけるまちの将来像の共有と合意形成が大切です。</p> <p>令和3年度は、六番町偶数番地周辺地区の地区計画策定に向けた検討を進めるとともに、新たな地区計画の策定や地区計画の変更に向けたまちづくりの動向に対応します。</p> <p>令和4年度は、まちづくりの機運や開発の動向を捉えながら、調査の実施や整備構想等の作成、地域特性を踏まえた地区計画制度の適用に向けた検討や地域との協議・調整を実施します。</p>						
所管課	環境まちづくり部	地域まちづくり課	決算参考書	220頁	R2予算の概要	141頁	

75 地域別まちづくりの推進

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		地域ごとのまちづくりのルールをつくります				
事業概要	内容	地域の課題を解決するため、地域自らがルールを定め、そのルールを継続的に運用していく自主的な団体等を支援していきます。				
	事業開始年度	平成8年度				
事業費・コスト	予算現額			決算額	執行率	
	(1) 秋葉原地域まちづくりの推進		5,012,000円	4,950,000円	98.8%	
	(2) 飯田橋・富士見地域まちづくりの推進		13,107,000円	8,488,610円	64.8%	
	(3) 神田駿河台地域まちづくりの推進		163,208,000円	160,000,000円	98.0%	
	(4) 神田駅周辺地域まちづくりの推進		3,526,000円	3,147,144円	89.3%	
	コスト単位	(1) 取組1地域あたり		(1 地域)		
		(2) 取組1地域あたり		(1 地域)		
		(3) 取組1地域あたり		(1 地域)		
		(4) 取組1地域あたり		(1 地域)		
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)	総コスト (C=A+B)	
(1)	4,950,000円	[26.1%]	14,021,635円	[73.9%]	18,971,635円	[100.0%]
(2)	8,488,610円	[26.6%]	23,369,391円	[73.4%]	31,858,001円	[100.0%]
(3)	160,000,000円	[94.0%]	10,126,736円	[6.0%]	170,126,736円	[100.0%]
(4)	3,147,144円	[19.2%]	13,242,655円	[80.8%]	16,389,799円	[100.0%]
事業実績	○令和2年度実績					
	(1) 秋葉原地域まちづくりの推進					
	①外神田一丁目南部地区地区計画勉強会 3回開催					
	(2) 飯田橋・富士見地域まちづくりの推進					
	①飯田橋駅及び駅周辺の整備について協議・調整					
	②飯田橋・富士見地域まちづくり協議会等 2回開催					
	(3) 神田駿河台地域まちづくりの推進					
	①明大通りの整備、JR御茶ノ水駅の改良等について協議・調整					
	※神田駿河台地域まちづくりの推進の決算額160,000千円は、御茶ノ水駅聖橋口駅前広場整備に係る負担金です。					
	(4) 神田駅周辺地域まちづくりの推進					
①神田警察通り沿道整備推進協議会 1回開催						
②神田警察通り周辺まちづくり検討部会 2回開催						
③神田警察通り周辺まちづくり検討部会分科会 1回開催						
④内神田南部地区地区計画策定						
4年度事業実績を踏まえた課題及び今後の対応	地域自らがまちづくりのルールを定め、その運用・活用を継続的に行っていくためには、多様な価値観を有する地域の人々による将来像の共有が不可欠です。					
	令和4年度は、令和3年度に引き続き、各地域の協議会等の活動を支援し、まちの将来像の共有やその実現に向けたルールづくりや、ルールを運用していく組織づくりを推進していきます。					
所管課	環境まちづくり部	地域まちづくり課	決算参考書	220頁	R2予算の概要	139頁

76 次世代育成住宅助成

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標	多様な暮らし方に対応した住まい・住環境づくりを進めます
------------------------	-----------------------------

事業概要	内容	<p>近年の人口増加に伴い子育て世帯も増加しており、子育て世帯が安心して住み続けられる住まい・環境づくりが求められています。</p> <p>そのため、区は、親元近居のために住替えを行う子育て世帯・新婚世帯や、子どもの誕生・成長に伴い区内転居する子育て世帯を対象に、家賃・住宅ローンの一部を助成します。民間住宅ストックを活用しながら区内での定住や世代間共助のライフスタイルを支援する区独自の住宅助成制度です。</p> <p>○助成額（月額） 親元近居助成（世帯員数×1万円）＋2万円 区内転居助成 世帯員数×1万円</p> <p>・最大月額8万円（2年目以降は1年目の助成額から毎年1割ずつ減額）</p> <p>○助成期間 最長8年間</p>
	事業開始年度	平成19年度

事業費・コスト	予算現額		決算額		執行率		
	150,528,000円		115,675,000円		76.8%		
	コスト単位	助成1世帯あたり				（479世帯）	
	コスト内訳	事業費等（A）		人件費（按分）（B）		総コスト（C=A+B）	
241,493円		[95.2%]	12,197円	[4.8%]	253,690円	[100.0%]	

事業実績	○令和2年度実績					
	世帯種別		令和2年度		令和元年度	
			助成受給世帯数	助成額	助成受給世帯数	助成額
	親元近居	新婚世帯	23世帯	9,814,000円	33世帯	11,197,000円
		子育て世帯	168世帯	44,519,000円	178世帯	56,069,000円
	区内転居	子育て世帯	288世帯	61,342,000円	274世帯	65,514,000円
合計		479世帯	115,675,000円	485世帯	132,780,000円	

令和2年度の助成終了後の世帯の区内定住率は約61%（直近3か年平均は約67%）です。

4 事業 年度 予 算 へ の 対 応	<p>本制度は、親世帯との近居による世代間の支え合いに着目した区独自の住宅助成制度であり、子育てや介護などにおける世代間共助のきっかけづくりとして、一定の役割を果たしていましたが、令和2年度は区内定住率が低下傾向にあります。今後は、コロナ禍のテレワークの普及による都心居住に対する価値観の変化などの動向を注視しつつ、地域コミュニティの活性化の一助となるような制度を検討していきます。</p> <p>令和4年度以降も、令和3年度に引き続き、親元近居助成と区内転居助成を継続するとともに、新たな制度の導入を進めていきます。</p>
--	---

所管課 環境まちづくり部 住宅課	決算参考書	222頁	R2予算の概要	143頁
------------------	-------	------	---------	------

77 建物の耐震化等促進事業【拡充】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		建物の耐震化を促進します				
事業概要	内容	<p>(1) 建物の耐震化等促進事業 地震による建物の倒壊等の被害から、区民の生命・財産を保護するとともに、避難経路等の閉塞を防ぐため、現在の耐震基準を満たさない建築物の耐震診断や耐震改修等に対する支援を行い、耐震化を促進します。</p> <p>(2) 耐震改修促進計画の改定 耐震化促進の現況や課題を把握し、その解決に向けた施策を検討するなど、令和3年4月の改定をめざして作業を進めていきます。</p>				
	事業開始年度	(1) 平成7年度 (2) 令和2年度				
事業費・コスト	予算現額		決算額		執行率	
	(1) 建物の耐震化等促進事業		462,178,000円	177,074,000円	38.3%	
	(2) 耐震改修促進計画の改定		6,000,000円	4,840,000円	80.7%	
	コスト単位	(1) 助成1件あたり		(26件)		
		(2) 計画(改定)1件あたり		(1件)		
	コスト内訳	事業費等(A)		人件費(按分)(B)	総コスト(C=A+B)	
	(1)	6,810,538円	[83.9%]	1,309,763円	[16.1%]	8,120,301円 [100.0%]
(2)	4,840,000円	[71.3%]	1,947,449円	[28.7%]	6,787,449円 [100.0%]	
事業実績	○令和2年度実績					
	(1) 建物の耐震化等促進事業					
		令和2年度	令和元年度	平成30年度		
	事務所ビル等の耐震促進事業	耐震診断	8件	9件	3件	※耐震診断助成は、平成30年度で終了しました。 ※各年度の実績件数には、前年度からの繰越分を含んでいます。
		補強設計	3件	1件	0件	
		耐震改修(住宅部分)	0件	0件	0件	
	木造住宅耐震促進事業	耐震診断	1件	1件	2件	
		耐震改修等	2件	5件	7件	
		シェルター等	0件	0件	0件	
	マンション等の耐震促進事業	耐震診断	5件	1件	3件	
補強設計		1件	0件	0件		
耐震改修等		1件	2件	0件		
アドバイザー派遣		0件	2件	3件		
要除却ブロック塀等の改善工事助成事業		撤去工事	1件	0件	0件	
	撤去後の軽量フェンス設置工事	0件	0件	0件		
	合計	26件	25件	24件		
※助成実績により、執行率が低くなりました。						
(2) 耐震改修促進計画の改定						
現状調査の結果、住宅(共同住宅を含む)の耐震化率は約94%となるなど、建築物の種類ごとに定めた目標値を下回りました。 そのため、国や都の目標値との整合を図りつつ5年後の耐震化の目標を定めるとともに、実現に向けた取組み方針において、マンションや特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化を重点的に進めることや、耐震化の普及・啓発及び支援・助成などの総合的な施策の展開について盛り込んだ、令和3年度から7年度までの「千代田区耐震改修促進計画」を定めました。						
4年度事業実績を踏まえた課題及び現況への対応	事務所ビル等では工事期間中のテナントの仮移転の問題(移転先や費用等)、マンションでは管理組合が必要な合意形成を得られないなど、様々な理由から耐震化が進まない状況があり、事業実績や執行率が伸び悩んでいることが課題です。 令和3年度は、改定後の「千代田区耐震改修促進計画」の初年度にあたり、区民の多くが居住するマンションや、特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化について、(公財)まちみらい千代田や(公財)東京都防災・建築まちづくりセンターなどの関連団体との連携を強化しつつ、個別の建築物の耐震化状況の把握も進めながら、引き続き耐震化に関する普及・啓発や支援・助成制度の活用により、重点的に取り組んでいきます。 令和4年度は、令和3年度に引き続き、建物所有者に直接、耐震化を働きかけるなど、耐震化の必要性と支援・助成制度の普及・啓発に積極的に取り組み、より一層、建物の耐震化を促進します。					
	所管課	環境まちづくり部	建築指導課	決算参考書	222頁 R2予算の概要	153頁

78 (仮称) 区立麴町仮住宅の整備

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		多様な暮らし方に対応した住まい・住環境づくりを進めます					
事業概要	内容	区営四番町住宅（保育園・児童館・区民集会室併設）及び区営四番町アパート（図書館・職員住宅併設）の建替えの際の仮移転先として、（仮称）区立麴町仮住宅を整備します。					
	事業開始年度	平成28年度					
事業費・コスト	予算現額		決算額		執行率		
	1,753,517,000円		1,629,743,182円		92.9%		
	コスト単位	整備1か所あたり				（1か所）	
	コスト内訳	事業費等（A）		人件費（按分）（B）		総コスト（C=A+B）	
1,629,743,182円		[99.8%]	3,894,899円	[0.2%]	1,633,638,081円	[100.0%]	
事業実績	○令和2年度実績						
	(1) 整備概要						
	①施設名称 区立麴町仮住宅						
	②所在地 平河町二丁目7番4号						
	③施設規模 延床面積：3,491.45㎡（地上12階、地下1階） 戸数：53戸						
	④スケジュール						
	・平成28年度 基本設計・実施設計						
	・平成28～29年度 旧千代田保健所麴町庁舎解体工事						
	・平成29～令和2年度 （仮称）区立麴町仮住宅新築工事						
	・令和2年11月末 区立麴町仮住宅竣工・引渡し						
・令和2年12月 入居者の仮移転開始（令和3年3月までに概ね完了）							
《事業費総計》 (単位：円)							
	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	総計	
	1,629,743,182	307,636,204	136,287,251	328,583,040	105,874,200	2,508,123,877	
(2) 旧千代田保健所麴町庁舎跡地利用検討協議会							
仮住宅として使用した後の利活用について、旧千代田保健所麴町庁舎跡地利用検討協議会を設置し、検討・協議しています。							
なお、令和2年度については、新たな協議事項がなかったため、会議実績はありません。							
4 事業 年度 課題 及び 予算 算へ の 対応	区立麴町仮住宅は令和2年11月末に竣工し、12月から供用を開始していますが、仮住宅として使用した後の利活用について、地域の課題を踏まえた検討を進めていくことが必要です。						
	令和3年度は、区営四番町住宅と区営四番町アパートから仮住宅への仮移転を早期に完了させます。また、地下鉄永田町駅連絡通路の整備について、令和3年3月に鉄道事業者との協議継続に関する文書を取り交わしましたが、引き続き整備に向けた調整等を進めます。さらに、仮住宅使用終了後の利活用について検討していきます。						
令和4年度は、令和3年度に引き続き、地下鉄永田町駅連絡通路の整備に向けた協議や、旧千代田保健所麴町庁舎跡地利用検討協議会において、仮住宅使用終了後の利活用についての検討を進めます。							
所管課 環境まちづくり部 住宅課			決算参考書	224頁	R2予算の概要	143頁	

79 路面下空洞調査【新規】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		だれもが移動しやすい環境の整備を進めます			
事業概要	内容	<p>区が管理する道路下には、上下水道や電気、ガスなどの地下埋設物が輻輳しており、埋設物の劣化・損傷や埋め戻し材の転圧不足等により空洞が発生する場合があります。</p> <p>区は、空洞による道路陥没などの被害を未然に防ぎ、安全で良好な道路状況を保つために、これまで幅員11m以上の区道についてレーダ探査による路面下空洞調査を実施してきました。</p> <p>令和2年度は、調査対象範囲をさらに広げ、幅員6m以上11m未満の区道を対象として路面下空洞調査を実施します。</p>			
	事業開始年度	令和2年度			
事業費・コスト	予算現額		決算額		執行率
	22,000,000円		9,834,000円		44.7%
	コスト単位	調査延べ延長1kmあたり			(60 km)
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)	
163,900円		[86.3%]	25,966円	[13.7%]	189,866円 [100.0%]
事業実績	<p>○令和2年度実績</p> <p>(1) 調査方法・対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レーダ探査調査 車道延長：48km 歩道延長：12km ・スコープ調査 67か所 <p>(2) 危険個所への対応</p> <p>スコープ調査により、陥没の危険性が高いと判定された14か所は、空洞の穴埋めなどの安全対策を施しました。</p> <p>※路面下空洞調査業務について、大幅な落札差金が生じたことから執行率が低くなりました。</p>				
4 事業 年度 実績 予 算 及 び 現 況 踏 ま え の 対 応	<p>今までの調査において、道路陥没の恐れのない小さな空洞は経過観察としました。その後の状態を把握するためにも継続的な調査が必要となります。</p> <p>令和3年度は、令和2年度に引き続き、道路幅員6m以上11m未満の区道の調査を行い、その結果に基づき安全対策を施します。</p> <p>令和4年度は、6m未満の区道の路面下空洞調査を行います。今後も、5年に1回のサイクルで路面下空洞調査を実施し、安全で良好な道路を保持していきます。</p>				
所管課 環境まちづくり部 道路公園課		決算参考書	224頁	R2予算の概要	150頁

80 区の花さくらの再生

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		身近な緑を増やし、うるおいのあるまちをめざします					
事業概要	内容	千鳥ヶ淵や外濠公園など名所のさくらが老朽化しているため、区は、平成15年度に「区の花さくら再生計画」を策定し、「さくら基金」の活用やさくら守としての「さくらサポーター」への参加、区民や関係者による「区の花さくら連絡会」での意見交換などを行いながら、さくらの維持・再生を推進しています。 令和2年度は、千鳥ヶ淵周辺の状態の悪いさくらについて、調査を実施するとともに、関係管理者である環境省と協議を行います。					
	事業開始年度	平成15年度					
事業費・コスト	予算現額		決算額			執行率	
	13,217,000円		10,441,094円			79.0%	
	コスト単位	区の管理するさくら1本あたり				(856本)	
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)	
12,198円		[62.6%]	7,280円	[37.4%]	19,478円	[100.0%]	
事業実績	○令和2年度実績 (1) 千鳥ヶ淵周辺のさくら生育調査 対象の231本の中に状態の悪いさくらはありませんでした。 (2) さくら再生事業 ①フェロモン防除剤を設置し、害虫の発生を抑制しました。 ②さくら樹勢調査 千代田区管理のさくらについて毎年樹勢調査を行っています。 ③さくら再生・更新 老朽化したさくらに対し、適切な剪定作業等を行い、老朽化したさくらの再生を図ります。 (3) さくらサポーターへさくら通信の送付 (さくら再生活動の報告) (4) さくら基金運営委員会の開催 (さくら基金活用の報告)						
	 ▲枯れ枝が目立つ千鳥ヶ淵法面のさくら						
4 事業実績を踏まえた令和3年度予算への対応	令和3年度は、令和2年度の調査結果について、環境省と情報共有を行い、千鳥ヶ淵周辺のさくらについては、経過観察していくとともに、区内のさくらの調査・維持・再生に努めます。 令和4年度以降も環境省と情報共有を行いながら、引き続き観察を続け、さくらの調査・維持・再生に取り組めます。						
	所管課 環境まちづくり部 道路公園課		決算参考書		226頁 R2予算の概要		157頁

81 公衆トイレのリフレッシュ

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		だれもが移動しやすい環境の整備を進めます					
事業概要	内容	東京2020大会に向けて、来街者の増加が見込まれる中で、4K（くさい、きたない、くらい、こわい）と言われる公衆・公園トイレの良くないイメージを払拭し、「おもてなし」の向上を図り、誰もが安全・安心・快適に利用できるよう、ユニバーサルデザイン等を取り入れて、区内の公衆・公園トイレの一斉改修（リフレッシュ）を実施します。					
	事業開始年度	平成30年度					
事業費・コスト	予算現額		決算額		執行率		
	400,168,000円		302,979,400円		75.7%		
	コスト単位	整備1か所あたり				（11か所）	
	コスト内訳	事業費等（A）		人件費（按分）（B）		総コスト（C=A+B）	
27,543,582円		[96.3%]	1,062,245円	[3.7%]	28,605,827円	[100.0%]	
事業実績	<p>○令和2年度実績</p> <p>(1) 整備 11か所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竹橋 ・一ツ橋 ・万世橋 ・千鳥ヶ淵 ・和泉公園 ・練成公園 ・淡路公園 ・昌平橋 ・神田橋 ・神田児童公園 ・清水谷公園 <p>(2) 主な整備内容</p> <ol style="list-style-type: none"> ①和式便器の洋式化・温水洗浄便座の設置 ②段差解消・自動洗浄機能・自動水洗機能 ③乾式清掃仕様の床材使用 ④LED照明化 <p>※令和2年度は14か所の整備を予定していましたが、うち3か所は新型コロナウイルス感染拡大に伴いトイレ器具の調達が困難となったため、一部の予算を令和3年度に繰り越しました。</p>						
	 <p>▲昌平橋公衆便所</p>						
4年度事業課 課題及び実績を踏まえた 予算への対応	<p>本事業は、令和2年度中に計29か所のトイレのリフレッシュ整備が完了し、令和3年5月末には予算を繰り越した3か所についても完了したことから、対象となる32か所の公衆・公園トイレのリフレッシュ整備を全て完了しました。</p> <p>今後は、リフレッシュ後のトイレを快適かつ衛生的に保つため、乾式清掃や毎月の点検、迅速な補修対応など適切な維持管理に努めます。</p>						
所管課 環境まちづくり部 道路公園課		決算参考書		226頁	R2予算の概要 146頁		

82 バリアフリー歩行空間の整備

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		だれもが移動しやすい環境の整備を進めます					
事業概要	内容	<p>区は、誰もが安全で快適に移動できるまちをめざして、道路のバリアフリー化を推進しています。その中で、災害時の円滑な救援活動に資するとともに、歩行空間の確保や景観の向上に寄与する電線類の地中化及び歩道設置・拡幅事業を実施しています。</p> <p>令和2年度は、4地区で電線類地中化の整備に取り組みます。また、歩道の設置・拡幅は、1路線で設計及び工事に取り組みます。</p>					
	事業開始年度	平成14年度					
事業費・コスト	予算現額				決算額		執行率
	(1) 電線類地中化の推進				501,130,000円	342,132,725円	68.3%
	(2) 歩道の設置・拡幅整備				145,200,000円	9,417,100円	6.5%
	コスト単位	(1) 整備1地区あたり				(4地区)	
		(2) 整備1路線あたり				(1路線)	
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)	
	(1)	85,533,181円	[93.6%]	5,842,348円	[6.4%]	91,375,529円	[100.0%]
(2)	9,417,100円	[60.2%]	6,231,838円	[39.8%]	15,648,938円	[100.0%]	
事業実績	<p>○令和2年度実績</p> <p>(1) 電線類地中化の推進 4地区で事業に取り組みました。 実施地区 ①大神宮通り地区 引込管路工事等 ②多町大通り南周辺地区 支障移設工事 ③二七通り東地区 支障移設工事、電線共同溝本体工事 ④和泉公園周辺地区 電線共同溝本体工事、引込管路工事等</p> <p>(2) 歩道の設置・拡幅整備 1路線で設計に取り組みました。 実施路線 ①明大通りⅡ期 設計業務</p> <p>※「歩道の設置・拡幅整備」については、明大通りⅡ期工事において関係者協議に時間を要し、工事に着手することができなかつたため、執行率が低くなりました。</p>						
4年度事業実績を踏まえた課題及び現況への対応	<p>道路整備にあたっては、誰もが安全で安心して快適に利用できるという視点はもとより、環境や景観への配慮、地域の生活や事業活動を支える基盤であるという視点をもって着実かつ安全に事業を進めていくことが必要です。</p> <p>令和3年度は、これらの視点に立ち、電線類地中化の推進について、4地区の事業に取り組みます。また、歩道の設置・拡幅整備は、明大通りⅡ期工事に取り組んでいきます。</p> <p>令和4年度は、令和3年度に引き続き、電線類地中化の推進及び歩道の設置・拡幅整備に取り組んでいきます。</p>						
所管課	環境まちづくり部	道路公園課	決算参考書	226頁	R2予算の概要	147頁	

83 橋梁の整備

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標	だれもが移動しやすい環境の整備を進めます
------------------------	----------------------

事業概要	内容	<p>区は、平成22年度に長期的コストなどの視点を踏まえた橋梁の長寿命化修繕計画を策定し、その計画に基づき補修・補強等を行っています。</p> <p>現在は平成27年度に行った橋梁健全度調査の結果を踏まえ、お茶の水橋、後楽橋、雉子橋の3橋について、補修・補強を進めています。</p> <p>令和2年度は、お茶の水橋の工事、後楽橋及び雉子橋の設計を行うとともに、5年に1回の橋梁点検を実施します。</p>
	事業開始年度	平成22年度

事業費・コスト	予算現額		決算額		執行率		
	928,000,000円		572,591,309円		61.7%		
	コスト単位	整備1橋あたり (3橋)					
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)	
	190,863,770円	[98.0%]	3,894,899円	[2.0%]	194,758,669円	[100.0%]	

事業実績	<p>○令和2年度実績</p> <p>(1) お茶の水橋 補修・補強工事</p> <p>(2) 後楽橋 補修・補強工事に向け関係機関との協議・設計図書の作成</p> <p>(3) 雉子橋 補修・補強工事に向け関係機関との協議・調整</p> <p>(4) 橋梁点検 28橋 (工事実施中のものは除く)</p> <p style="margin-left: 20px;">I：健全 13橋</p> <p style="margin-left: 20px;">II：予防保全段階 13橋</p> <p style="margin-left: 20px;">III：早期措置段階 2橋</p> <p style="margin-left: 20px;">IV：緊急措置段階 0橋</p>
------	---

4 事業 年度実績を踏まえた 課題及び現況との 算及予況と令和 の対応	<p>橋梁整備にあたっては、誰もが安全で安心して快適に利用できるという視点はもとより、環境や景観への配慮、地域の生活や事業活動を支える基盤であるという視点が必要です。また、交通管理者・河川管理者・鉄道事業者など多くの関係機関等と協議を重ね、調整していく必要があるため、計画的に進めていくことが求められます。</p> <p>令和3年度は、お茶の水橋の補修・補強工事を継続的に進めながら、後楽橋の工事着手、雉子橋の補修・補強に向けた協議・調整・設計を行います。また、橋梁点検の結果を踏まえ、橋梁の長寿命化修繕計画を更新します。</p> <p>令和4年度は、引き続き、お茶の水橋及び後楽橋の工事を安全に進めるとともに、雉子橋の補修・補強工事に着手します。また、更新した橋梁の長寿命化修繕計画に基づき、新たな橋梁の補修・補強等について検討していきます。</p>
---	--

所管課 環境まちづくり部 道路公園課	決算参考書	226頁	R2予算の概要	151頁
--------------------	-------	------	---------	------

84 自転車道の整備

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		だれもが移動しやすい環境の整備を進めます					
事業概要	内容	<p>近年、健康や環境・災害対策等への意識の高まりなどから、自転車を利用するニーズは高まっている反面、交通安全・マナーなどの問題も増加し、自転車の安全な走行環境の整備対策が求められています。</p> <p>そのため、平成25年度に策定した「千代田区自転車利用ガイドライン」に基づき、安全で快適な自転車利用ができる自転車走行空間の自転車レーン及びナビマーク・ナビラインによる整備を推進します。</p> <p>令和2年度は、神田警察通り沿道整備推進協議会や地域などの意見を踏まえ、神田警察通りⅡ期区間の協議・設計を実施し、工事に着手します。</p> <p>また、大妻通り及び半蔵門駅通りにおいて、路面標示による自転車走行空間の整備を行います。</p>					
	事業開始年度	平成26年度					
事業費・コスト	予算現額		決算額			執行率	
	234,000,000円		34,598,300円			14.8%	
	コスト単位	整備1路線あたり (2路線)					
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)	
17,299,150円		[84.7%]	3,115,919円	[15.3%]	20,415,069円	[100.0%]	
事業実績	<p>○令和2年度実績</p> <p>(1) 神田警察通りⅡ期 (設計) 樹木に関する有識者への意見聴取や沿道整備推進協議会を実施し、Ⅱ期区間における整備内容をまとめました。</p> <p>(2) 大妻通り及び半蔵門駅通り (工事) 自転車ナビマーク・ナビラインを設置しました。</p> <p>※神田警察通りⅡ期工事について、街路樹の取扱いに係る検討や調整等に時間を要したことから、年度内の工事着手ができなかったため、執行率が低くなりました。</p>						
	<p>4 事業年度実績を踏まえた令和4年度の予算への対応</p> <p>自転車走行空間の整備にあたっては、誰もが安全で安心して快適に利用できるという視点はもとより、環境や景観への配慮、地域の生活や事業活動を支える基盤であるという視点が重要です。</p> <p>令和3年度は、これらの視点に立ち、神田警察通りⅡ期工事の着手に向けて取り組みます。また、確定していないⅢ期以降の区間について、区間を確定し整備内容を取りまとめ設計を行います。</p> <p>令和4年度は、引き続き神田警察通りの整備を進めるとともに、ナビマーク・ナビライン等の路面標示による自転車走行空間の整備を検討していきます。</p>						
所管課 環境まちづくり部 道路公園課			決算参考書		226頁	R2予算の概要	151頁

85 外濠公園総合グラウンド整備

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		身近な緑を増やし、うるおいのあるまちをめざします			
事業概要	内容	<p>外濠公園総合グラウンドは、都心における限られた貴重な屋外スポーツ施設ですが、雨天等によるグラウンドコンディションの不良などにより、利用が制約されるという実態があります。</p> <p>一方、グラウンドは財務省が土地を所有し、文化庁が文化財に指定しているほか、新宿区の区域も一部含まれることから、整備にあたっては財務省や文化庁、新宿区などの関係機関との協議、許可申請等が必要です。</p> <p>そこで、グラウンドの通年利用を可能とさせ、区民がスポーツに親しめる環境を高めるための整備に向け、関係機関及び各利用団体と協議や調整を行っています。</p> <p>令和2年度は、外濠公園総合グラウンド整備に向けた整備手法の調査・検討を行います。</p>			
	事業開始年度	平成28年度			
事業費・コスト	予算現額		決算額		執行率
	4,917,000円		4,917,000円		100.0%
	コスト単位	整備1か所あたり		(1か所)	
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)	
4,917,000円		[38.7%]	7,789,797円	[61.3%]	12,706,797円 [100.0%]
事業実績	<p>○令和2年度実績</p> <p>文化庁や財務省などの関係機関との調整に加え、土壌汚染対策法や東京都環境確保条例に基づき関係部署と調整を行いました。あわせて、整備に向けた具体的な整備手法の調査・検討を行った結果、人工芝による整備を効率的に進めるための施工方法を示した基本設計等をまとめました。</p>				
4 事業 年度 実績 予 算 を 踏 ま え の 対 応	<p>外濠公園総合グラウンドは、他の公園とは異なる特有の事情（国有地、文化財、区境）がある中で整備にあたっていく必要があります。</p> <p>令和3年度は、整備手法の検討結果を踏まえ、詳細設計を実施し、あわせて関係機関への協議、許可申請等の手続きを進めます。</p> <p>令和4年度は、整備工事を行う予定です。</p>				
所管課	環境まちづくり部	道路公園課	決算参考書	228頁	R2予算の概要 157頁

86 東郷元帥記念公園の整備

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		身近な緑を増やし、うるおいのあるまちをめざします					
事業概要	内容	<p>東郷元帥記念公園は、昭和4年に震災復興公園として開園し、その後隣接していた東郷平八郎私邸の寄附を受け、3階層からなる公園として整備され、地域における豊かな緑や貴重なオープンスペースとなっています。昭和40年に改修整備され、その後は部分改修を重ねながら50年が経過し、バリアフリーへの対応などが必要となっています。</p> <p>このような状況の中、歴史的経緯を尊重しながら、より一層地域に愛される公園としてリニューアルするため、近隣住民や関係機関との合意形成を図りつつ整備を進めています。</p> <p>令和2年度は、基準値を超える鉛が検出された土壌の処理を行うとともに、公園下段部広場工事を実施します。</p>					
	事業開始年度	平成29年度					
事業費・コスト	予算現額		決算額			執行率	
	481,000,000円		219,341,000円			45.6%	
	コスト単位	整備面積 1 m ² あたり			(7,119 m ²)		
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)	
30,811円		[96.6%]	1,094円	[3.4%]	31,905円	[100.0%]	
事業実績	<p>○令和2年度実績</p> <p>(1) 東郷元帥記念公園改修工事検討協議会 第18回協議会：令和2年8月7日 第19回協議会：令和2年9月8日 <協議会での確認事項> ・土壌及び樹木等対策を踏まえた修正設計内容の決定</p> <p>(2) 改修工事 平成29年10月に着工しましたが、土壌から基準を上回る鉛が検出されたことにより、平成30年7月に工事を休止しました。 その間、土壌対策の専門家の意見を聴きながら関係機関との調整を行い、土壌の処理と整備工事を下段部から実施しています。</p> <p>※鉛が検出された土壌にある植樹の保全方法の検討について時間を要したことや、新型コロナウイルス感染拡大に伴い意見交換会を延期したことから、修正設計の方針が決まらず整備工事に遅延が生じたため、執行率が低くなりました。</p>						
	4年度事業実績を踏まえた令和	<p>土壌調査の結果や住民・関係者の意見などを踏まえて整備内容を整理することや、公園全面を閉鎖せずに一部利用可能としながら、安全に工事を進める必要があります。</p> <p>令和3年度は、協議会で決定した樹木の取扱方針を踏まえて、下段部の土壌の処理及び整備工事を行います。</p> <p>令和4年度以降は、引き続き、上・中段部の土壌の処理及び整備工事を実施します。</p>					
所管課	環境まちづくり部	道路公園課	決算参考書	228頁	R2予算の概要	157頁	

87 錦華公園の整備

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		身近な緑を増やし、うるおいのあるまちをめざします			
事業概要	内容	<p>錦華公園は、昭和42年の改修から50年以上が経過して老朽化が顕在化しています。公園に隣接するお茶の水小学校・幼稚園の建替えと連携しつつ、地域住民や学校関係者等の意見を伺いながら、より地域に愛される公園としてリニューアルします。</p> <p>利用者調査、地域や学校へのアンケート、現地でのオープンハウス、意見交換会、公園だよりの配布、お茶の水小学校・幼稚園整備検討協議会など、広く意見を伺いながら検討を進めます。</p>			
	事業開始年度	令和元年度			
事業費・コスト	予算現額		決算額		執行率
	24,000,000円		0円		0.0%
	コスト単位	整備面積 1 m ² あたり			(2,759 m ²)
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)	
0円		[0.0%]	2,259円	[100.0%]	2,259円 [100.0%]
事業実績	<p>○令和2年度実績</p> <p>①オープンハウス : 2回実施 (第1回: 7月17日~18日、第2回: 11月27日~28日)</p> <p>②意見交換会 : 4回開催 (9月3日、10月29日、12月16日、3月23日)</p> <p>③公園だよりの配布: 3回実施 (10月、11月、1月)</p> <p>※令和2年度中に設計を完了する予定でしたが、丁寧な意見集約に努めるとともに、新型コロナウイルス感染拡大防止のため意見交換会を延期したことなどにより、設計委託を完了しなかったため、執行率が低くなりました。なお、予算を令和3年度に繰り越しました。</p>				
4 事業 年度 予 算 及 び 現 況 踏 ま え の 対 応	<p>公園の改修整備については、近隣住民や利用者等の声を幅広く伺い、できる限り多くの意見や要望を取り入れていく必要があります。</p> <p>令和3年度は、令和2年度に引き続き意見交換会等により意見集約を行ったうえで整備内容をまとめ、設計及び公園整備工事に着手します。</p> <p>令和4年度は、お茶の水小学校・幼稚園の新築工事と調整しながら公園工事を進め、整備を完了する予定です。</p>				
所管課 環境まちづくり部 道路公園課		決算参考書	228頁	R2予算の概要	158頁

88 事業系ごみ等対策

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標	資源循環型都市をめざします
------------------------	---------------

事業概要	内容	事業系ごみが大半を占める千代田区では、ごみの減量及びリサイクルを推進するため、毎年、事業用大規模建築物（延床面積1,000㎡以上の事業用建築物）の所有者に対し、再利用計画書の提出を義務付けています。また、その計画書を基に、立入検査を実施し、顕著な成果を挙げた建築物については、所有者等に対し優良廃棄物管理建築物として表彰を行い、取組みが不十分な事業者等については、適切な助言や指導を行っています。
	事業開始年度	平成12年度

事業費・コスト	予算現額		決算額		執行率		
	1,740,000円		1,465,607円		84.2%		
	コスト単位	許可業者・対象建築物1件あたり (2,305件)					
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)	
	636円	[3.3%]	18,388円	[96.7%]	19,024円	[100.0%]	

事業実績	○令和2年度実績			
	(1) 事業用大規模建築物立入調査件数 (単位：件)			
	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
対象				
床面積3,000㎡以上	46	145	169	
床面積1,000～3,000㎡未満	48	0	6	
合計	94	145	175	
	(2) 優良廃棄物管理建築物 令和2年度は該当なし			

4年度事業実績を踏まえた課題及び現況への対応	区におけるごみの排出量の推移は微減傾向となっておりますが、「第4次千代田区一般廃棄物処理基本計画」で定めたごみ削減量の目標を達成するためには、区全体のごみ発生量の約8割を占める大規模事業所の理解と協力が不可欠です。 令和4年度は、令和3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症に留意しながら立入検査を実施し、各事業所等に適した有効なリサイクル対策についての提案及びリサイクル推進の意識付けを広く行っていきます。また、他の模範となる優れた取組みを積極的に行っている所有者等に対して表彰を行い、奨励の面からも対策を充実させていきます。
------------------------	--

所管課 環境まちづくり部 千代田清掃事務所	決算参考書	230頁	R2予算の概要	168頁
-----------------------	-------	------	---------	------

89 ごみの収集・資源回収関連事業【拡充】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		資源循環型都市をめざします																		
事業概要	内容	<p>区は、収集した燃やすごみ、燃やさないごみ、粗大ごみを中間処理施設に運搬し、処理をしています。</p> <p>特に近年、収集依頼数が大幅に増加している粗大ごみについては、中間処理施設への搬入回数を増やすことにより、区民サービスの低下を防ぐことに努めています。</p> <p>また、東京2020大会開催は1年延期となりましたが、多くの来街者にあわせ、街の美化を維持する収集体制は引き続き確保していきます。</p>																		
	事業開始年度	(1) 平成12年度 (2) 平成9年度																		
事業費・コスト	予算現額		決算額	執行率																
	(1) ごみの収集・運搬		384,083,000円	359,215,122円	93.5%															
	(2) 資源回収事業		581,971,000円	566,278,941円	97.3%															
	コスト単位	(1) ごみ・船舶輸送 1 t あたり		(17,083 t)																
		(2) 回収量 1 t あたり		(4,508 t)																
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)														
	(1)	21,028円	[42.8%]	28,108円	[57.2%]	49,136円 [100.0%]														
(2)	125,616円	[98.5%]	1,953円	[1.5%]	127,569円 [100.0%]															
事業実績	<p>○令和2年度実績</p> <p>区の人口増に伴い増加している粗大ごみの収集依頼に応えるため、中間処理施設等（粗大ごみ破砕施設、粗大ごみ中継所）への搬入回数を増やし、区民サービスの維持に努めました。</p> <p>粗大ごみの収集件数等比較</p>																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>収集件数</th> <th>中間処理施設への搬入回数</th> <th>年間の収集日</th> <th>1日あたりの搬入回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>90,214点</td> <td>1,680回</td> <td>310日</td> <td>5.4回</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>73,836点</td> <td>1,549回</td> <td>310日</td> <td>5.0回</td> </tr> </tbody> </table>					年度	収集件数	中間処理施設への搬入回数	年間の収集日	1日あたりの搬入回数	令和2年度	90,214点	1,680回	310日	5.4回	令和元年度	73,836点	1,549回	310日	5.0回
	年度	収集件数	中間処理施設への搬入回数	年間の収集日	1日あたりの搬入回数															
令和2年度	90,214点	1,680回	310日	5.4回																
令和元年度	73,836点	1,549回	310日	5.0回																
<p>粗大ごみの収集依頼件数は、人口増加に伴い今後も増加の見込みであることから、収集体制を強化していくことが必要です。</p> <p>令和4年度は、令和3年度に引き続き、粗大ごみの収集ルートや運搬車両への積み方を工夫するなど粗大ごみの収集を強化し、区民サービスの向上を図ります。</p>																				
4年度事業実績を踏まえた対応																				
所管課	環境まちづくり部 千代田清掃事務所	決算参考書	230頁	R2予算の概要	166頁															